

特別講演 2

「地域における ACP」

社会福祉法人愛光園老人保健施設 施設長

西川 満則 先生

ACP は地域で行われる必要があります。なぜなら、ACP は、将来の医療ケアを選択することに違いないのですが、過去の医療ケア経験、生活、価値観が大きくかかわってくるからです。多様な本人らしさをキャッチし、共有するためには、ACP の地域実装が必要です。

また、キャッチした本人の選好が、代弁者家族や医療ケア提供者の意見と対立する場合、本人の意向が脆弱な場合、基本的な ACP コミュニケーションスキルに加え、臨床倫理アプローチについて学ぶ必要があります。

これらのスキルは、病院地域連携室のソーシャルワーカー、介護支援専門員等のように、扇の要のポジションで活動する専門職にとって必須のものです。

そして、いつどこで誰が何をどうする、といった手順を実装することも、あわせて重要です。

講演では、これらを網羅する時間はないですが、要点を解説いたします。地域で ACP を推進すべく活動されている皆様、是非、ご参加ください。